



『**関連一覧**』

市場納品日: 2026/04/19 集計台数: 21

順位	種別	機種名	タイプ	市場納品日	相関人数	相関Pt
1	4円	eラグナドール 妖しき皇帝と終焉の夜叉姫	ライトミドルタイプ	2026/04/05	14人	689 Pt
2	4円	eフィーバーキン肉マン	ミドルタイプ	2026/04/19	11人	276 Pt
3	4円	eリコリス・リコイル	ライトミドルタイプ	2026/04/05	10人	166 Pt
4	4円	e女神のカフェテラス	ミドルタイプ	2025/08/17	6人	1106 Pt
5	4円	e新世紀エヴァンゲリオン〜はじまりの記憶〜	ミドルタイプ	2025/12/21	6人	265 Pt

機種同士の関係性をみえる化。自店導入の上位相関機種を一覧で把握、比較が可能



自店だからこそ稼働する機種探しが可能に。AIがおすすめの機種を推薦した理由と、自店と相性の良い機種まで教えてくれる

機種同士の相関を可視化し、AIで自店舗に最適な遊技機を提案

『遊動's EYE』を活用した機種運用はすでに多くのホールで行われているが、グローリーナスカは今夏、『遊動's EYE』をさらにパワーアップする2つの新機能を搭載する。それが『**関連一覧**』と『**未導入機種選定**』だ。

『**関連一覧**』ではまず、機種別の相関関係を見ることができ、これにより機種同士の関係性が可視化され、自店導入機種の上位相関を一覧で把握でき、比較が可能になる。また、機種ごとの相関関係を自店と全国とで比較もできる。これにより全国で相関の高い自店未導入機種が把握できるため、より根拠がある遊技機選定が可能になる。

レポート別、タイプ別のユーザーの移動傾向把握できるので、全国比較によって自店の強みを踏まえた戦略判断が可能になる。

もうひとつの新機能がAIを使った『**未導入機種選定**』だ。全国データから自店に未導入



グローリーナスカ株式会社
営業統括部DX推進部
情報分析グループ
岡島健太郎氏

機種候補群を作成。自店に合う機種と高相関の未導入機種を導き出して自店での適合度を導き出してくれる。『AI分析を見る』のボタンをクリックすれば、おすすめの機種を推薦した理由をAIが教えてくれるので、根拠を示した上での遊技機の運用が可能になる。

では、これら2つの新機能を使ってどんなシーンが想定できるのか。グローリーナスカ営業統括部DX推進部情報分析グループの岡島健太郎氏はこう語る。

「新台をはじめとして、特定の機種に関するデータから、相性の良い機種をピックアップして次回レイアウト変更時に最適化を図ることができます。また、自店データと全国データを比較することで自店の特徴が把握できるので、強みを伸ばし、弱みの発見につながります。適正機種導入の指標として効率的な稼働の向上につなげていただければと思います」



ホール営業の質を変えるグローリーナスカのデータ分析サービス『遊動's EYE』にこの夏、2つの新機能が加わる。『**関連一覧**』と『**未導入機種選定**』。自店の強みを活かす遊技機の活用を提案する機能を搭載したシステムが、遊技機運用担当者の強い味方になる。

「自動集計」「瞬間分析」「AI解説」で、ホールの機種運用を支援

ホ

ールの日々の業務の中で業績に直結する遊技機の運用。「この機種は残すべきか、手放すべきか」「イベントの効果はどうだったのか」。こうしたホールの課題に対して、グローリーナスカが提案するのが最新のAI技術を搭載したデータ分析サービス『遊動's EYE』だ。

『遊動's EYE』は同社の顧客動向システム『遊動分析』をベースに開発。『遊動分析』では、自店舗の会員のみならず非会員の遊技動向も、同社のICカードユニットで取得したデータを独自のロジックで可視化。遊技客の人数や客層、台移動の傾向、客単価、勝ち客・負け客の割合、1人あたりのアウト数など、多角的な情報が抽出できる。これにより、より実態に即した営業分析が可能になる。

『遊動's EYE』はこの基盤を活かして「自動集計」「瞬間分析」「AI解説」の3つの特長で機種運用の意思決定を支援するツールだ。誰もが直感的

に操作できる設計で、これまで属人的だった判断を、論理的かつ迅速に行えるようになった。例えば売却機種の見極めでは、自店及び全国の稼働や粗利、中古機価格などの実績データを「自動集計」し、収益性の下がった機種を売却候補として提示。また、自店でのみ高い支持を得ている機種を抽出する機能も備えた。こうした機種運用における必要な視点を「瞬間分析」できる点はホールにとって大きな安心材料となるだろう。

さらに、店舗側で事前に登録しておいた「特定日」の効果測定も可能だ。イベントや演者来店施策の実績やアウト推移を定量的に比較することで、施策の真の効果が可視化でき、販促戦略の改善につながる。

特筆すべきは、AIが分析だけでなく、その結果を解説してくれる点だ。この「AI解説機能」では、増台の対象機種、運用の見直し機種など今後の方針の提案を、読みやすいレポート形式で出力。店長やエリアマネージャーはそのまま社内報告に活用できるため、資料作成の手間も大幅に削減できる。

『遊動's EYE』に自店の強みを伸ばす新機能

『**関連一覧**』と『**未導入機種選定**』で適正機種の活用を